

3 いじめを見ぬくポイント

—子どもの様子をよく見る—



学校では

- 学校を休む
- 浮かぬ顔をしている
- 服装が破れたりボタンがとれたり、汚れたりしている
- 汚される
- らくがきされる
- 傷、こぶ、あざ、けがなどがたびたび見られる
- 持ち物が隠される
- 一人遅れて教室に入ってくる
- 野次がとぶ
- 一人ぽつんとしている

家庭では

- 服が切られたりする
- 持ち物がなくなる
- 傷つけられる
 - らくがきされる
 - お金の使い方が荒くなる
 - ぼんやりしている
 - 家族に話しかけられるのを嫌がる
 - 不機嫌になったり、あたり散らしたりする
 - 体にひんぱんに傷やあざが見られる

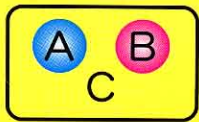


いじめの発生を防ぐには

- もっともっとお節介になろう!
- 遊びのルールを教えよう!
- 相手の気持ちを考えさせよう!

D

「いじめ」の構造



- A: いじめられている子ども
- B: いじめている子ども
- C: 見てはやしたてる子ども
- D: 見て見ぬふりをする子ども